

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	地域でその人らしく暮らせる支援をしていく	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>地域交流に参加する。グループホームの催しに参加を募る</p> <p>○</p>	<p>地域交流(いきいき、スカイクロス、小学校運動会観覧等)。グループホームの夏祭りに招待。千代原ニュース便りにクイズをのせGHに遊びに来てもらえるような工夫を取り入れている</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	千代原ニュースを毎月発行している。	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>日中、散歩に出ることにより挨拶を交わし合うと共に、GHの近くに犬の散歩等来られた時、気軽に声かけて下さったり、自宅花壇の花を頂いたりする</p>	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の行事、活動に参加し交流する事に努める</p> <p>○</p>	<p>地元の子供たちが行事に参加したり学校授業の一環として利用者様に接してくれる</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	夏祭り行事にて取り組む	○	認知症を理解してもらうため、ご家族様、地域で高齢者を抱える家族様とともに勉強会を開催する
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の評価で茶碗やお箸が皆一緒であった事に対してお箸だけは個人にあるが茶碗は数人しか個人のがない	○	各利用者の好みの茶碗を使用してもらうように一緒に買い物に行き選んでもらったり、職員が利用者の好みの茶碗を購入しなじみの食器を使う事で楽しい食事の雰囲気を感じられるようにしていく
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	取組状況、報告等を常に話し合い地域包括センターの主任ケアマネや民生委員さんの意見や情報はとても参考になり、ケアにも反映されている。家族様にはありのままを理解していただき、協力をお願いしている。	○	ホーム内だけでなく、利用者様が地域に出て行き、地域の高齢者とともにレクリエーションを楽しんでいる。参加者を増やす努力を考えている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ボランティアの問いあわせ等に頻回に赴き情報を提供してもらった。	○	西京区内事業所が集まる集いに参加する
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	介護事業部の研修年間計画にあり職員は参加している。参加出来ない職員は会議にて伝達研修、又は資料を回覧し自己啓発にて学んでいる。必要な利用者にはいつでも対応出来るように準備している		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	介護事業部より資料が送られ会議にて話し合う。又資料は回覧し自己啓発にて熟読してもらう。	○	知らず、知らずにしている行為が虐待に繋がる危険性があるので常日ごろの職員同士のコミュニケーションを大切に注意が出来る体制を作っていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時も解約時も時間を掛け納得して頂けるまで説明する		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から利用者とのコミュニケーションを図り何でも気軽に伝えて頂けるように心がけている。苦情を受けた場合は申し送りノートにて職員全員に伝達し、月2回のカンファレンスにて話し合い、玄関には御意見箱を設置している		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	特変時等、直ぐに家族様に連絡をすると共に毎月のお便りに利用者様の状況、預かり金報告をしている。職員の異動は報告していない		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時にお話を聞きサービスにつなげている		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファにて話し合う	○	職員から沢山の意見が出るよう工夫していきたい
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員間の連携に努め、利用者様にご迷惑を掛けないよう直ぐに対応できるようにする。勤務調整はお互いに助け合っている		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	家族様の要望もあり職員移動は最小限に押さえていた。(4月、5月で大移動をした)離職者に関しては今年1年で入職してすぐに退職していった職員が有った	○	ホーム内で新人教育を考えて行きたい。余裕の有る人員を確保していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部より年間研修計画の元実施している。随時職員には参加を募っている。	○	自主参加ができる様、仕事に魅力を見いだしたい。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の事業所(そよ風)と初めて交流会(合同レク)をした緊張の中、利用者様も職員も心地よい疲れを残し無事終わった	○	この機会を重ねて行き近隣の事業所と協力しあい学んで行き認知症の方々が地域でその人らしく暮らせるよう支援していきたい(勉強会も考えている)
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	母体(音羽病院)がカウンセリング室を設けている		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己評価が年2回有り、目標等を記載する。管理者が面接して職員個々の思いを把握する。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時に何げない会話の中から利用者様の思いや願いを聞き取る様心がけている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約に至るまでゆっくり時間を掛け話を聞く		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本部が総括している	○	今後は職員も参加して対応に努めたい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の状態に合わせて、ケアプランをモニタリングし作成している、無理のないペースで馴染んでもらえる様にしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	時に職員は本人を介護される一方の立場に置いている事がある。コミュニケーションは図れているが“共に生きる”という意識が低く利用者様によっては支え合う関係を築けていない	○	合同カンファを開き“共に生きる”という事を注意を促し、対応に十分注意をするよう心がけた
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	レクの参加時、面会時に近況報告や相談する事により本人との密接な関係が築けるように努力している	○	面会にあまり来られない家族様もおられるので必要に応じて電話等で関係を築いていきたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	レクの参加を呼びかけ、一緒に過ごせる機会を作り、本人と家族の関係づくりを支援している		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、知人とは電話や手紙等によって連絡を取り合ってもらえるようにしている。馴染みのスーパーでの買い物もしている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者1名が居室にこもりがちである。食事も居室で食べている。(精神的に波のある利用者様)	○	状態も落ち着いて来たため、外出(散歩、買い物等)声かけし、少しずつ居室から出てこれるようになっている。徐々にリビングへの声かけや誘導も行っていく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後もご家族様がボランティアで毎月1回レクレーション(紙芝居等)で来訪してくださり長いお付き合いをしていただいている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	時には利用者様の思いがくみ取れておらず、職員の把握もまばらである	○	日々の利用者との会話の中から思いを汲み取り職員で共有し実行する努力を行っている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様より話を伺い情報収集しGHでも馴染みの暮らしが出来るようにしている。又、本人からも会話の中から聞き取り把握に努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメントを取り、ケアプランに組み込み職員全員が把握できるように努めている	○	生活歴の情報をもっと聞き取り生活に活かしていきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族様からは面会時等に意見や要望を聞く様に心がけている	○	本人又は、家族様にもカンファレンスに参加して頂けるように参加を呼び掛けている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	できる限り、現状に合ったケアプランの作成を心がけている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の言動、行動を時間の流れに添って記入している。特にケアプランに上がっている物は詳細に記入、その他のことは必要に応じて記入している。気づきや工夫の記録が少ないケアプランに反映しにくい	○	行動記録はもちろんのこと、その時の気づきや心の思いも記録できるようにしていきたい(8月から実施予定)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族様の要望は速やかに対応できる体制を心がけ、支援している		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域開催のいきいきに参加している。又、緊急時の対応も警察や地域に方との連携協力を得ながら支援している	○	もっと地域資源を利用していきたい(情報収集から始めていきたい)
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域包括主任ケアマネに相談に乗ってもらい地域開催の催し等に参加できるように支援していきたい	○	もっと地域資源を利用していきたい(情報収集から始めていきたい)
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	相談している		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族様が希望される所に受診してもらい医院との関係にも十分な配慮を心がけている		

洛和グループホーム千代原口(2階)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	年1回音羽病院、認知症外来に受診している		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	週1回、訪問看護師が来る。気軽に相談している		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している			
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早急に話し合い、方針の共有が必要	○	往診ドクターのもと家族様に来ていただき十分な説明をしていただき、全員で方針を共有していきたい
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ドクターより家族様に十分説明して頂きGHで「できること、できないこと」の理解を得る	○	早い時期にドクターを含めてのムンテラを行っている
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族様と十分話し合い納得していただいている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	時にはプライドを傷つけるような言葉かけ、利用者の尊厳も感じられない様な対応をしている	○	利用者の尊厳を大切に十分に注意し言葉かけや対応をするよう心がける
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に説明を行い、意思を確認し納得をした上で、ケアを行う様よう心がけている		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や入浴等、出来るだけ利用者の希望に添うように支援している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	男性利用者に対して常に髭剃りができていない	○	ケアプランに組み込み毎日の髭剃りを徹底していきたい
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	声かけして手伝って頂いているが、同じ利用者ばかりである	○	リビングの台所のみの手伝いだけでなし居室で過ごす利用者にも分担して行ってもらうように促していく
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個々の好みのものが提供できている。特に飲み物は一人一人違い、いつでもある状態にしてある		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表がいる方には日々、時間、量等を記録している。排泄パターンによりトイレ誘導をしたり支援している		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者のニーズに合わせ、週3回以上の入浴又は半数以上がほぼ毎日入浴している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	傾眠時は声かけし昼寝をして頂くように心がけている	○	夜間の状況、起床時間を申し送りトータルに個々の睡眠時間の把握をする
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除、片付け、裁縫、花の手入れ等それぞれの得意な物、ことを引き出し職員とともに行っている	○	利用者全員で1つの作品を作ったりする事にも取り組んで行きたい
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者とともに買い物に出かけ、利用者が支払を行っている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、喫茶、映画等、希望されることを出来るだけ実行している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別対応にて映画鑑賞に行き、家族と一緒に買い物や食事に行かれている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望が少ない		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来客時には居室のお茶をお持ちしてゆっくりとくつろいでいる		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議にて取り上げ、資料も回覧し再度確認している		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の居場所確認や職員の連携、ポジショニング見守りは行っているも、職員の不足時、入浴介助、居室対応等のときは、やむをえず利用者の安全を第一に考え施錠している	○	見守り方にも工夫をし施錠しなくても良いホームにしていきたい
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	離設が度重なっている	○	職員の連携、見守り方も工夫し離設を防ぐ努力をしている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	混乱があるからと一律になくしている	○	本当に只の混乱なのかを見極め居室内にいる時も様子観察する。状態に応じた対応を根気を良く試してみる
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	離設、服薬忘れ、誤薬が多いため、事故が有る度に全職員の意見を聞き取り事故防止に取り組んでいる	○	見守り強化、薬の管理マニュアル等を作成し徹底しニーズをくみ取りケアプラン作成して対応を改善している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員全員が定期的に救急救命の講習会に参加し初期対応ができるように訓練している		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回消防署参加のもと利用者全員で訓練を行う		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族様との信頼関係のもと十分な話し合いをしている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	申し送りノートにて情報を共有し又、速やかに往診ドクターに相談し指示を仰いでいる		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	往診ドクター処方の定期薬については介護記録に挟み込みいつでも検索出来るが田中ドクター処方の精神薬については把握しきれておらず薬に関する事故が多い	○	定期薬、精神薬についてもすぐに検索出来る様に整理する様にしていく。誤薬、服薬わすれのないよう薬の管理マニュアルの徹底をはかる
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日の散歩や、バランスの良い食事、水分も促してはいるが排泄チェックをおこたっていた	○	全利用者、きちっと毎日排泄チェックし確認把握していく
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	時に口腔ケアが行えておらず、口の中の汚れがひどい状態があったり、入床時、義歯を装着したまま寝ていたり、歯ブラシも清掃に管理出来ない	○	ケアプランに組み込み口腔ケアの徹底を図る。歯ブラシも別購入し職員にて管理していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の記録は全員行っている。水分はこまめに促し、刻みやミキサー食の方は個別に状態により支援している	○	献立を決める際に検食等をチェックし肉、魚、揚げ物、重ならないようにバランスを考え調理を行う様に心がける
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	本部よりマニュアルを頂き職員で共有している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用具の消毒雑菌と共に賞味期限の確認を行っている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にテーブルと椅子を置きいつでもくつろげるスペースを作っている		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング内、利用者全員が座れない状態である	○	新しいテーブルを発注している
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	1階の玄関先は静かで落ち着く様子		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	混乱があるからと物がなく、なじみの居室になっておらず、落ち着かない利用者さんがおられる。衣類があると汚染したり夜間不眠傾向の為、居室内、何もない利用者さんがおられる	○	混乱があっても根気よく、ケアに取り組んで行きたい馴染みの物を置き、本人が少しでも居心地良く過ごせる様に家族様と相談しながら工夫していく。他利用者さんも同様、衣類を少し居室に戻してみる
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	職員の温度が基準になっており、利用者が寒い思いをしておられた。(クーラーの前の席)クーラーから離れている利用者はガスレンジの近くで有り暑い思いをされていた	○	利用者の尊厳を大切に十分に注意し言葉がけや対応をするよう心がける個々の適温を考慮し、温度調節を心がけて行く、ガスレンジ前の席の利用者に対しては希望もあり、扇風機も使用する
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下が広く、廊下に椅子を置き環境作りを心がける		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	特技や趣味(塗り絵、字を書く、音読等)一緒にしていき時には利用者同士、読み聞かせをしたり自立を促す取り組みをしている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りに花を育て、水やりをしたい楽しんでもらう、畑では大葉やネギを栽培し料理に利用したい	○	再度、畑で野菜作りをして行きたい

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

洛和グループホーム千代原口(2階)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

千代原口が住みなれた環境になり、日々、安楽に過ごして頂ける様、職員全員で支援している。
地域にも出て行ける様、様々な場面で支援して行きたい。